

第2回

居場所
フォーラム

第2回居場所フォーラムを開催します!

人と人とのつながり支えあう 地域づくりに向けた居場所の可能性

今年度も昨年に引き続き「居場所」をテーマとしたフォーラムを開催します。

子ども食堂、多世代が集う居場所・カフェなど様々な形態の居場所づくりが市民の手で進められています。孤立社会にあって、
<食・遊び・学び>を通じて人々がつながり支えあうこれらの活動は人々が本来持っている<共生する力>をもって、<共に生きる場>を再創造する試みと言えるでしょう。

今年度のフォーラムでは、加藤敦彦さんをゲストスピーカーに招き、『共に生きる場の再創造～活動の現場からの提言～』というタイトルで問題提起をいただきます。加藤さんは教員生活最後の場となった沖縄で、子どもの貧困問題に向き合い、大勢の教育関係者とともに調査・提言活動をされました（そして現在も関わっています）。その後故郷の横浜市栄区に戻られたのちは、老人会の会長として地域活動の活性化に取り組んでいます。沖縄と横浜、二つの「現場」から問題提起していただきます。

居場所に取り組む3つの助成団体からは、現在取り組んでいる活動・マネジメントの実際や今後の展望について報告いただきます。かながわ生き活き市民基金ではこの6年間で22の居場所活動（子ども食堂・居場所カフェ・学習支援など）に取り組む団体に助成しています。パネルディスカッションでは、人と人とのつながり支えあう地域づくりに向けた居場所の可能性をテーマに、登壇者と会場を交え、議論を深めたいと考えます。

ぜひ、みなさまの参加をお待ちしています。

申し込みは、ホームページから ⇒



実行委員会の様子

日時:10月26日(土)
場所:オルタナティブ生活館
スペースオルタ
(新横浜2-8-4)

参加費無料 先着100名

第1部 講演
共に生きる場の再創造
～活動の現場からの提言～

講師
加藤 敦彦さん
◆前沖縄大学学長
◆横浜市栄区
田谷長生会 会長



第2部
福祉たすけあい基金
助成団体3団体による
パネルディスカッション



現在までの寄付総額
2019年8月末日現在

118,000,194円

賛助会員

2019年9月末現在

個人会員数 62

法人会員数 18

TOPICS

- ♥ 居場所フォーラムを開催します。
- ♥ 市民ライターの取材記事
子どもひろば「みらい」
- ♥ 遺贈寄付相談窓口を開設しました。
- ♥ 第13期福祉たすけあい基金募集開始

公益財団法人かながわ生き活き市民基金

横浜市新横浜2-2-15パレアビル6F 045-620-9044

Meil info@lively-citizens-fund.org

URL:<http://www.lively-fund.sakura.ne.jp>

＜市民ライターの取材＞ 子どもひろば「みらい」『宿題持って遊びにおいでよ。』

鎌倉デポーの2階の集会室で毎週木曜日、子どもひろば「みらい」をオープンしています。隣の深沢小学校からは道路も渡らずにランドセルを背負ったまま、低学年の子どもでも安心して来られる居場所です。代表の戸田美智子さんにお話を伺いました。

「ただいま～」と帰って来た子どもたち。ここで宿題をやって、おやつを食べて、その後に自由に過ごします。ゲームをしたり、読書したり…2, 3人のスタッフ見守りながら一緒に過ごします。参加費は無料で、最初に名前や連絡先等を登録すれば、申し込みは不要です。学童保育のような感じですが、こぢんりとしていて、自分たちで自由に過ごせます。保護者の帰りが遅くなる時、小学校に入学したばかりで親も子どもも不安な時期、どういう理由でも来たい子は誰でも受け入れてくれる子どもの居場所です。活動は賛助会員とメンバーの会費、バザー収入、文房具や本などの寄付で行っており、2018年にかながわ生き活き市民基金からの10万円の助成金も大事な活動資金になっています。



活動場所は、鎌倉デポー運営委員会と湘南生活クラブに便宜供与を図つてもらい、無償で借りています。2012年の鎌倉デポーのオープン当初から『地域に開かれたデポー』を目指していたのでここに『居場所』を開きたいと、2017年、『地域に貢献、地域で子どもを育てよう』という志に賛同した人たちが集まり、2018年1月、子どもひろば「みらい」がオープンしました。準備期間にボランティアスタッフとして活動した方々が継続してスタッフとなり、徐々にですが子どもの居場所としてのかたちができています。ボランティアは全くの無償ですが、毎週集まって自分たちで運営することで、スタッフにとっても良い『居場所』になっているということです。デポー運営委員会も子どもひろば「みらい」の活動を応援してくれるので、七夕やクリスマス会、デポーの周年まつりの時など、お互いにたすけあって活動しています。デポーの運営委員やワーカーズのお子さんがここに来ることもあります。最初はお母さんの会議中に来ていた子どもたちも、それ以外の日にもお友達と誘い合って来るようになったそうです。

最初はみんな聞き訳が良くていい子にしている子どもたち。通っているうちに段々と自我が出て、時にはわがままになることも。そんな子どもたちの様子を見て戸田さんは、「この場に馴染んで安心して過ごせているのだな」と思うそうです。一方、閉める間際になると、お家のことをポロッと話したり、寂しい気持ちが出てきたりすることもあるそうです。「子どもも本当にすごく頑張っているのだな、我慢しているのだなと感じます。そういう気持ちに少しでも寄り添えるように、となる時は聞き役になります。そして私たちも楽しみながら子どもたちに勉強を教えたり一緒に遊んだりしています。」と戸田さん。地域の大人たちが、地域の子どもたちの育ちを優しく見守っている、そんな場所です。（市民ライター 増田 澄恵）



遺贈寄付相談窓口を開設しました。

10月より、遺贈寄付相談・市民ネットによる寄付相談を開始します。

＜遺贈寄付相談・市民ネットについて＞

生活クラブ生協、福祉クラブ生協、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会、地球の木、WE21ジャパン、女性・市民コミュニティバンク、かながわ生き活き市民基金の8団体が設置した、あなたの思いと寄付プログラムをつなぐプラットホームです。

＜市民ネットのホームページを参照下さい＞

[URL:www.izo-citizens.net](http://www.izo-citizens.net)

＜寄付相談の問い合わせは＞

TEL:045-620-9044

（かながわ生き活き市民基金まで）

第13期福祉たすけあい基金

募集開始

新しい事業のスタートを応援します

募集期間 11月15日～12月13日

＜説明会＞

10/31(木)15:15 ユニコムプラザさがみはら
11/ 1(金)15:00 横須賀産業交流プラザ
11/ 2(土)10:00 新横浜オルタ館
11/ 5(火)15:00 生活クラブ高津センター
11/ 8(金)15:00 小田原市民交流センター

＜個別相談会＞ 要予約

11月11日(月)～29日(金) 10時～17時

詳しくはホームページ参照

（募集要項、申請書など）

